

サークルオリ
4/1(Mon), 4/2(Tue)
@1号館1階105教室

体験搭乗会や新歓食事会など、
新歓イベントの詳細は裏面へ



運動会 航空部

グライダー

グライダーは、エンジンなどの動力を持たない航空機です。離陸する際には、機体に取り付けたワイヤーをウィンチという機械で高速で巻き取ることで凧揚げのように上昇します。上昇後ワイヤーを切り離すと自由に飛ぶことができ、うまく上昇気流にのれば、高度1,000m以上まで昇ったり、数時間飛んだりすることができます。2人乗りの複座機と1人乗りの単座機があり、1年生は、はじめは複座機で国家資格を持った教官の指導を受けながら操縦の訓練をします。



航空部の活動

航空部の1番の魅力はもちろん、グライダーに乗って空を自由に飛べることです！そのための主な活動として、滑空場でのグライダーの操縦訓練、機体の点検や整備、操縦に関する知識やルールの学習を行っています。活動の頻度は週に1回のミーティングと月に1回の合宿で、部員はそれぞれ可能な範囲で参加しています。合宿は、土日だけで行うものと1週間弱に及ぶものがあります。合宿で共同生活を送っているので先輩後輩の仲が良く、和気あいあいと活動しています。入部してから1～2年は教官と一緒に2人乗りのグライダーで訓練を行い、1人で飛ぶことができるライセンスを取得したあとは、自分1人で空を飛ぶことを楽しんだり、大会での優勝を目指して練習に励んだりします。

安全面について

グライダーはかなり高い上空を飛ぶため、もしものことがあれば当然搭乗者の身にも危険が及びます。しかし、グライダーは航空機の事故の主な原因である動力を持たず、機体自体も相当大きな荷重まで耐えられるよう頑丈に設計されているため、飛行中にトラブルが起こる可能性はほぼゼロに等しいと言えます。さらに機体は法定の定期検査を受け、合宿時には毎朝入念な点検を行っています。加えて、操縦ミスによる事故を防ぐため、入部してからしばらくの間は国家資格を持った教官と同乗して練習します。

視力や身体能力について

練習生として訓練を始めるためには、身体検査に合格するだけでOKです！この身体検査も、空を飛ぶのに問題ない程度に健康であること、メガネなどで矯正して生活できる程度の視力さえ満たせば合格できます。グライダーで飛ぶ際に重要なのは、集中力や判断力、そして経験と感覚であり、体力や運動神経はそれほど重視されません。また、集中力や判断力は訓練を積むうちに身についていくものなので、心配しなくても大丈夫です。さらに、グライダー競技に携わる学生はほぼ全員が大学からグライダーを始めるので、グライダー歴の点で、ほとんどハンデなく始めることができます。



少しでも航空部に 興味を持ってくれた方へ

普段の拘束時間は長くないうえ、試験期間である7月と1月には合宿を行わないので大学での勉強やバイトなど、他の活動とも十分両立でき、実際に、他サークルと兼サーしている部員もいます！また、必要な知識は先輩がミーティングの際に丁寧にレクチャーするため、文系理系も問いません。航空部は、男女も文系理系も問わずに、空を飛ぶことに興味がある人、大学から新しいことをはじめてみたい人、珍しい体験をしてみたい人、どんな人でも歓迎します！少しでも航空部に興味を持った方は、ぜひ[体験搭乗会](#)に参加してみてください！



i Information

4/6(Sat),7(Sun) 体験搭乗会

二人乗りのグライダーに実際に乗り、国家資格を持つパイロットの操縦で空を飛ぶことができます。

興味を持ったら下記の連絡先、またはサークルオリの航空部のブースまで！

4/9(Tue),18(Thu) 新歓食事会

新入生は無料で参加できる食事会です。たくさんのご参加お待ちしております！参加希望は下記の連絡先まで！

4/1(Mon),2(Tue) 機体展示

駒場キャンパス正門前に、航空部が所有するグライダーLS-8を展示します。グライダーと一緒に写真を撮ったり、近くで見たりしたい人はぜひお気軽にお声かけください！

サーオリMap

正門から入って正面の建物が1号館です。105教室は、1階の正面から入って右手に進んだ先にあります。



Contact

Mail: utsc2019.shinkan@gmail.com

Web: <http://www.utsc.jp/top.html>

Twitter: @JA_2492

@utsc2019 (新歓アカウント)

Instagram: @utokyo_soaring_club

LINE@で新歓情報を随時発信します！友達追加はこちらから▼

